科目名	診察学応用１							年度	2025
英語科目名	Applied Consultation and Examination 1							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 ２年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	小堀孝浩	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		

【科目の目的】

現代医学的な診察法の基本を学び、鍼灸施術に必要な診察の仕方や評価法を座学と実習を通して身につけることを目的とする。また、症例を提示することで、実践をイメージし、診察の基本や応用力を身につけることを目的とする。

【科目の概要】

①現代医学的な診察法の基本を復習し、鍼灸施術に活かすための診察の基礎を学ぶ。②診察の仕方や評価法を練習し、体得する。③提示された症例をもとに、診察の模擬授業を行い、診察力た対応力を身につける。※授業に臨むにあたり、実習を伴う授業は、予習・復習をすることが大切である。予習をすることによって、授業中にすぐ身体が動くように準備しておくこと、復習することによって、毎回自分なりに振り返りや課題を見つけて、次回へ活かすように取り組む。

【到達目標】

現代医学的な診察法の基本を復習し、診察の仕方や評価法を実習を通じて身につける。また、症例を提示し、ペアまたはグループで検討し、実際に取り組むことで、卒業後の臨床現場における診察力・対応力を体得する。

【授業の注意点】

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	問診や医療面接が的確に・臨機応変にできる。	問診や医療面接がスムーズにできる。	問診や医療面接が問題なくできる。	問診や医療面接を時間はかかるができる。	問診や医療面接が上手くできない。
到達目標 B	鍼灸臨床の適応・不適応の知識・判断について適切に理解できる。	鍼灸臨床の適応・不適応の知識・判断について理解できる。	鍼灸臨床の適応・不適応の知識について理解している。	鍼灸臨床の適応・不適応の知識・判断について少しは理解できている。	鍼灸臨床の適応・不適応の知識・判断についての知識が乏しい。
到達目標 C	目的とする身体診察についての知識・理解と共に臨機応変な対応も理解している。	目的とする身体診察についての知識・理解が深い。	目的とする身体診察についての知識があり、理解もできる。	目的とする身体診察についての知識がある。	目的とする身体診察についての知識・理解が乏しい。
到達目標 D	目的とする身体診察が素早く・的確にできる。	目的とする身体診察がスムーズにできる。	目的とする身体診察ができる。	目的とする身体診察が時間はかかるができる。	目的とする身体診察が上手くできない。
到達目標 E	各症例に対する問診・医療面接や身体診察が素早く・的確にできる。	各症例に対する問診・医療面接や身体診察がスムーズにできる。	各症例に対する問診・医療面接や身体診察ができる。	各症例に対する問診・医療面接や身体診察が時間はかかるができる。	各症例に対する問診・医療面接や身体診察が上手くできない。

【教科書】

担当教員が資料を作成し、毎回配布する。診察・検査法を行うための器具が必要。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

期末試験（筆記試験）で評価。授業の取り組む姿勢も評価に加味する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	診察学応用１	年度	2025
英語表記	Applied Consultation and Examination 1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	診察学の基礎、問診・医療面接①	診察学や問診・医療面接について学び、医療面接を実際に経験してみる。	1	診察学の概要	年間の授業内容・手順・技術について理解する。	2	
			2	問診・医療面接の概要	問診・医療面接の内容・手順・技術について理解する。		
			3	医療面接の体験	医療面接を学び、学生同士で体験する。		
2	医療面接②、診察の記録	医療面接の具体的な方法を体験し、実践する。診察の記録方法を学び、理解する。	1	医療面接の体験	医療面接を学び、学生同士で体験する。	2	
			2	診察の記録方法	カルテの書き方やポイント・注意点について理解する。		
			3	適応・不適応の判断	患者の適応と不適応の判断について学び、理解する。		
3	治療計画、基本的な診察・測定法①	治療計画の立て方を学び、実施できるようになる。バイタルサインの基礎を学ぶ。	1	適応・不適応の判断	患者の適応と不適応の判断について学び、理解する。	2	
			2	治療計画の概要	鍼灸臨床の治療計画の立て方を学び、理解する。		
			3	バイタルサインの概要	バイタルサインについて学び、理解する。		
4	基本的な診察・検査・測定法②	バイタルサインを学び、測定できるようになる。頭頚部の診察法を学び、実施できるようになる。	1	バイタルサインの実習	バイタルサインの診察を実践し、理解する。	2	
			2	頭部診察の概要	頭部の診察について学び、理解する。		
			3	頚部診察の概要	頚部の診察について学び、理解する。		
5	基本的な診察・検査・測定法③	ABIの測定を学び、実施できるようになる。頭頚部の診察法を学び、実施できるようになる。	1	ABI測定の概要	ABIの測定の方法、意図、ポイントを理解する。	2	
			2	ABI測定の実習	ABIの測定の実践し、理解する。		
			3	頭頚部診察の実習	頭頚部の診察を実践し、理解する。		
6	基本的な診察・検査・測定法④	胸部・背部の診察法を学び、実施できるようになる。	1	胸部・背部診察の概要	胸部・背部の診察について学び、理解する。	2	
			2	胸部診察の実習	胸部の診察を実践し、理解する。		
			3	背部診察の実習	背部の診察を実践し、理解する。		
7	基本的な診察・検査・測定法⑤	胸部・背部の診察法を学び、実施できるようになる。呼吸器疾患について学ぶ。	1	胸部・背部診察の実習	胸部・背部の診察を実践し、理解する。	2	
			2	呼吸器疾患の概要	呼吸器疾患の診察について学び、理解する。		
			3	呼吸器疾患の診察実習	呼吸器疾患の診察を実践し、理解する。		
8	基本的な診察・検査・測定法⑥	腹部の診察法を学び、実施できるようになる。消化器疾患について学ぶ。	1	腹部診察の概要	腹部の診察について学び、理解する。	2	
			2	腹部診察の実習	腹部の診察を実践し、理解する。		
			3	消化器疾患の概要	消化器疾患の診察について学び、理解する。		
9	基本的な診察・検査・測定法⑦	神経系の診察法を学び、実施できるようになる。反射について学び、理解し、実施できるようになる。	1	神経系の診察の概要	神経系の診察について学び、理解する。	2	
			2	反射検査の概要	反射検査の診察について学び、理解する。		
			3	反射検査の実習	反射検査の診察を実践し、理解する。		
10	基本的な診察・検査・測定法⑧	神経系の診察法を学び、実施できるようになる。徒手筋力検査について学び、実施できるようになる。	1	神経系の診察の概要	神経系の診察について学び、理解する。	2	
			2	徒手筋力検査の概要	徒手筋力検査の診察について学び、理解する。		
			3	徒手筋力検査の実習	徒手筋力検査の診察を実践し、理解する。		
11	基本的な診察・検査・測定法⑨	神経系の診察法を学び、実施できるようになる。脳神経系の基礎および疾患について学ぶ。	1	脳神経の復習	脳神経について復習し、理解を深める。	2	
			2	脳神経の診察の概要	脳神経の診察について学び、理解する。		
			3	脳神経の診察の実習	脳神経の診察を実践し、理解する。		
12	基本的な診察・検査・測定法⑩	神経系の診察法を学び、実施できるようになる。脳神経系の基礎および疾患について学ぶ。	1	脳神経の復習	脳神経の働きについて復習し、理解を深める。	2	
			2	脳神経の診察の概要	脳神経の診察について学び、理解する。		
			3	脳神経の診察の実習	脳神経の診察を実践し、理解する。		
13	実技試験	医療面接や診察学の実技試験を行う。	1	口頭試問	診察学についての理解度を確認する。	2	
			2	医療面接の試験	医療面接の知識・技術を確認する。		
			3	診察法の試験	診察方法の知識・技術を確認する。		
14	基本的な診察・検査・測定法⑪	運動器系の診察法を学び、実施できるようになる。	1	運動器の復習	運動器について復習し、理解を深める。	2	
			2	運動器系の診察の概要	運動器系の診察について学び、理解する。		
			3	運動器系の診察の実習	運動器系の診察を実践し、理解する。		
15	基本的な診察・検査・測定法⑫	関節可動域の方法を学び、理解し、実施できるようになる。	1	運動器の復習	運動器の働きについて復習し、理解を深める。	2	
			2	関節可動域測定の概要	関節可動域の測定について学び、理解する。		
			3	関節可動域測定の実習	関節可動域の測定を実践し、理解する。		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等